

問 1 次の計算をせよ。

(1) $20 \times \frac{1}{4} + 0.25 \times 2$

(2) $(3+4) \times 5 - 28$

(3) $3^2 - \sqrt{9}$

(4) 50 の 8 %

(5) 10 の 2 割

問 2

2 点 (2,2) (4,6) を通る直線を求めよ。

問 3 所得を 1000、商品 1 の消費量を y_a 、価格を 100、商品 2 の消費量を y_b 、価格を 50 とする。

y_a を横軸、 y_b を縦軸にすると、どのような直線がかけるか。図示せよ。

問 4

所得	300	400	500	600	700
消費	230	290	350	410	470

(1) 消費が所得の 1 次関数で表されるとすると、どのような式になるか。所得を Y、消費を C として式で表わせ。

(2) 所得が 500 のとき、平均消費性向、限界消費性向はそれぞれいくらになるか。

問 5 名目賃金を M、価格を P、生産量を Y、労働投入量を N とする。「実質賃金は労働投入量の限界生産力に等しい」という内容を式で表わせ。

問 6 1 年後の価格が 107 円の債券の割引現在価値が 100 円だった。利子率は何 % か。

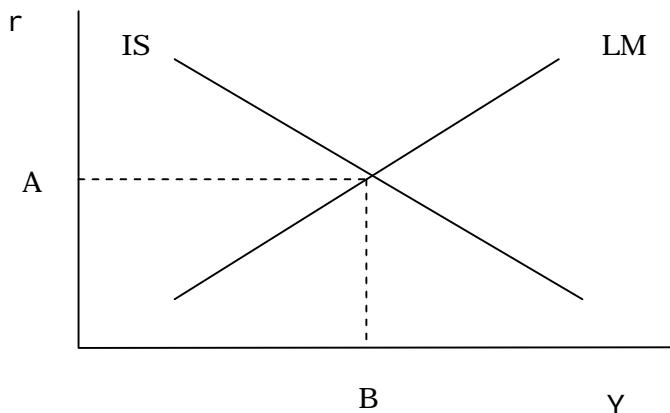
問 7 需要面からみた GDP (Y_d) 供給面からみた GDP(Y_s)、所得面からみた GDP(Y_I)、消費 (C)、投資 (I) が次の関係にあるとする。

$$Y_d = C + I$$

$$Y_s = Y_I$$

消費関数は基礎的消費が 200 兆円、限界消費性向が 0.5、投資は 100 兆円で一定の時、3 つの GDP が一致する水準はいくらになるか。

問 8



直線 IS が $r = 20 - 0.4Y$

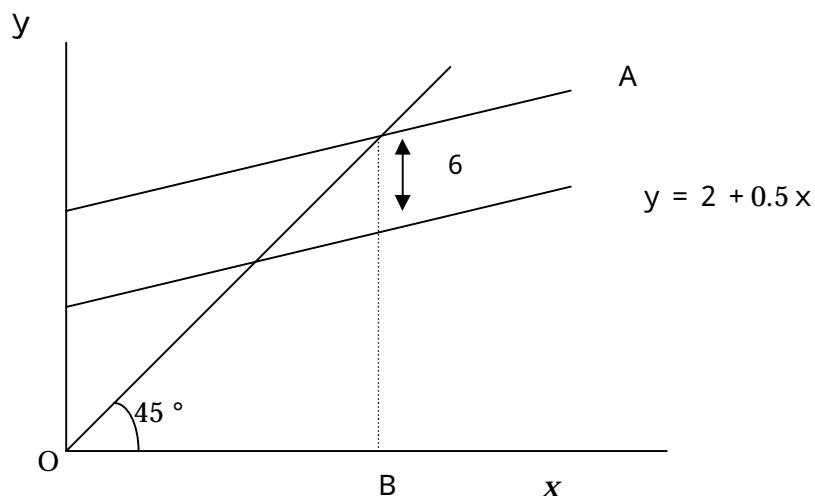
直線 LM が $r = -2 + 0.6Y$

のとき、次の値はいくらになるか。

$A =$

$B =$

問 9



(1) 直線 A を式で表せ

(2) B の値はいくらになるか

問 10 限界効用が遞減するとはどのようなことを意味しているか。ケーキを例にとって説明せよ。